平成から



ネット・ひたち

平成31年月11日





「シニアライフを 心豊かに生きる」ために 「仲間、生きがい、ひたちを 愛する心」を大切に 「感謝し感謝される楽しい活動」

18回総会

行されたこと、各担当リーダー・会員の積極的 成 31 野代表から総会への多数の参加と、 の出席のもと、 年度総会が4月 開催された。 11 月 女性 セン 3 本柱 ターで会員・会友 の活動 取り組みに対して が順調に遂

45 人

説明が各担当者からなされ、活発な審議のもと、 謝辞が述べられた。一方、リーダーのマンネリ化や自主グルー 数低迷の問題などの解決への協力を呼び掛けた。 平成30年度活動と決算報告、平成31年度の活動計画と予算案の 全会一致で承認された。 一部修正が出た

続いて自主グループ各リーダーから、 への参加をお願いし、 盛会のうちに終了した。 活動の経過ならびに進

代表挨拶と活動 方針

者にも評価いただけるものであ 楽習会・自主グループ活動を着実 心豊かに生きる」を理念に活動を ったと確信しております。 に推進し、会員・会友および関係 平成30年度も、 今年度25年目を迎えます。 netは「シニアライフを シニア講座・

協だより、タウン情報誌、メディ会員のボランティア活動が、社 よりお返しするほうが多いグルー人ひとりが、社会から得る恩恵ました。地道な活動を続け、会員 もに、県知事表彰受賞の栄誉も得 アなどにも取り上げられるとと したたまものと喜び、 プに属したいとの思いを共有 また誇りに

> き役員会、企画委員会などでの意度は増してきております。引き続会友数も9人減少しており、深刻 講者数の減少、④新しい自主グル当役員の長期化、③シニア講座受 っていかなければなりません。見交換を通じて解決の糸口を ープの誕生低迷などです。会員・ した①会員・会友の高齢化、 を抱えております。 大、 課題と ② 担 探

向かった活動基盤を構築するよ加者が満足できる新しい時代へりません。その活動が有意義で参 う、 業を進めていきたいと考えます。 必須となりました。使いやすい ありませんか。 所となるよう知恵を絞って作須となりました。使いやすい事 令和元年も活動内容・理念は変 事務所も家主の都合で移転 知恵を出し合い実行しようで が

プ活動 計 曲

シニア講座グループ

講座」を開催する。 で「第20回シニア地域活動入門 定員 20 名 日立市社会福祉協議会と共催 受講料3千円

期日

第 2、

4水曜日

全

10

口

5月8日~9月25日

役員会メンバー

(山野邦雄、

畑

山和子、三ツ井義弘、秋山雅絵、

代表(山野邦雄) 本年度役員 リ | 副代表(畑 タ

会計(三ツ井義弘兼任) 女性センター友の会(秋山雅絵) シニア講座 **鴌**(平田順一、五月女五美枝) 白土節子 (山野邦雄) 事務局長(三ツ井義弘) (畑山和子) 広報(竹本講治) 楽習会 会計監

バックアップすると共に、活性化当者が計画を進めやすいようにを割り振り、活動計画を作成。担 容の充実と参加者増員を図る。 費用を有効に活用して、楽習会 の決定に従い、希望に沿って担当者

広報グループ

依頼時はご協力をお願いします。年の一言、リレー随筆などの原稿会報は例年通り年4回発行。新 報提供をお願いします。 主グループ活動などの、早期の ホームページでは、 楽習会、 自 情

まの建設的なご提案をお待ち ら実行していきたい。また、皆さ て の有効活用など、方法を考えなが 報のタイムリーな伝達、 委員会の活性化、 事務局業務の確実な実行、 、会員に対する情 新事務所 企画









新春を和で寿ぐ

(1/10)

今年も悠遊亭ベーやん (渡部 博さん) の落語とアル ペジオによる演奏と歌で、創建100周年を迎えた「共楽 館(現日立武道館)」で開催した。

山野代表の挨拶に続き、ベーやんの落語は「二番煎じ」 の一席。惜しみない大拍手と長年、楽習会行事にご協力 いただいたことに感謝を表し、花束を贈呈した。さくら 茶にて休憩後、日立市民作曲の「さくら祭り」に始まる 透き通ったアルペジオの歌声が、広い会場一杯に広まっ た。また「高校三年生」など、みんなで合唱した。

最後に「さくら祭り」作曲者の知り合いで、住谷リデ ィアさんにもご参加いただき、みんなで「さくら祭り」 を歌った。

「共楽館を考える集 い」の皆さんには大変 なご協力をいただき、 広い会場が狭く感じる ほどの参加者で、盛大 に開催できた。



参加者 189 人 (うち会員外 144 人) (山本 三男)

井戸端会議(4)

(1/24)

最初に石井さんの指導で「ぱたか・シニア健康体操」 を行った後、濱さんが今年度の反省点について述べた。 その後、グループごとに今年度実施済の楽習会で良かっ た点、改善すべき点について話し合った。その後、来年

度のテーマ選びに入り、 計 40 件に整理され、 次回の楽習会「皆で考 えよう J-net」に提案 する。

来年度のテーマ選定 では、全員参加で楽し く有意義なものに決ま ることを期待します。



参加者 28 人 (帰山 芳夫)

県政出前講座

(2/14)

「県北地域の振興策」について、県北振興局・入江主 査と「地域連携による県内各地の振興策」について、地 域振興課・中本主査にお話しをいただいた。

前半は入江主査が、日立市の良いところを30秒間で アピール。課題は「交流人口の拡大」、また「日立市の 魅力を知り、それを発信することが振興に役立つ」と提 言された。

後半は中本主査から 「地域づくり茨城協議 会」での情報提供や「 地域づくり団体」支援 で「日本一幸せな県」 を目指す施策を展開し ているとのお話しがあった。参加者29人 (福田 常実)



皆で考えようJ-net

楽習会の進め方について説明の後、提案テーマのPR タイムに、映画「ある町の高い煙突」に関連することや 演奏会などのPRがあった。

前回の井戸端会議で提案された内容から、総会・年末 交流会など、楽習会の必須テーマ4回を除く20回に対 し、出席者の挙手によりテーマを選定した。バス使用の

テーマは、今回制限 を設けたため、近場 での一泊懇親会と水 戸八景バス見学の2 件となった。決定さ れた楽習会テーマは、 会員の皆さんで活発 に実行されることを 期待する。



参加者 37 人 (濱 高廣)

井戸端会議(3)

(3/14)

今回は、計画した楽習会「酒造会社見学」の参加者が 少なかったので「井戸端会議(3)」に変更した。

最初に、グループごとに前回の「皆で考えよう J-net」 で決定したテーマについて話し合った。

楽習テーマを楽し く、みんなが参加で きる行事の進め方な どをフリートーキン グ。グループごとに 活発に検討いただき、 全体で34件の意見 が出された。



参加者 28 人 (井上 和美)

日立の活性化について

(3/28)

百年塾副本部長・西内博氏にお話を伺った。

前半は「緑のカーテン」の普及、コミュニティビジネス の「さくらカフェ町づくりプロジェクト」、また、託児 の保育サポーター養成講座は、産官連携で立ち上げたこ となどの報告。後半は「日立のまち これから」で、日 立はイベントが多い割に活気がない。また、第三次産業 (商業・飲食) が分散し、ひ弱である。現状では稼いだ お金が市外に持ち出されているとのお話しがあった。

街の活性化には通勤・通学・買い物・観光客などの人 口交流を増やすことが必須で、市内外へ商業、飲食業の

情報発信が必要であ るとのこと。

最後に縦割り組織 に横串を通し、旗振 りする市民・行政の 総合プロデュースが 必要で、活きた情報 発信が課題とのご指 摘があった。



参加者 28 人 (吉牟田 護)

河原子海岸清掃グループ。 留学生も楽しく参加

昨年度は定例活動以外に、市社協主催のビーチクリーンキャンペーン、久慈川菜の花畑保全活動にも参加しました。

また、河原子海岸 清掃に秋山さんのお 孫さんと、ホームス ティしているタイか らの留学生のクラヤ



ナ ビスタさんが飛び入り参加してくれ、茨城の海は非常にキレイと言っておりました。

桜の季節となり、年間行事の懇親会を満開の桜のも と熊野神社社務所で、お花見の宴を開きました。

本年度も清掃活動はもちろん、懇親を深めるワンコインなど楽しんで行える活動にしましょう。

(小林 信幸)

ウオーク会 早春の砥石山を訪ねて

2019 年度第1 弾のウォーク会は4月20日、砥石山散策。場所は日立市内・助川山の南側に位置。市民の森駐車場を10時に出発。登り口の両脇にある2億5千万年前の岩石(鮎川層)に固着しているウミユリの化石説明あり(関村さん)。ほぶ緩やかな山道を野鳥のさえずりを聴き、山野草(タチツボスミレなど)の可憐さを愛で、1.25 時間で標高272mの頂上に到着。V字谷

からの眺望が圧巻!のはずが、芽吹いた木の葉で少し見づらかった。江戸~平成10年まで産出された砥石の設備残骸を確認し、少し離れたスペー



スで昼食。各自持参の食材を回し、さながら昔日の遠足気分。13:30 駐車場に帰着。天候、距離、時間&場所ともに上々のウォークでした。 (相澤 正敏)

J&Bグループ 笑顔あふれた春まつり

毎年恒例のおもちゃライブラリー春まつりを4月2日、福祉プラザ大会議室で開催した。今回も1、2歳前後の小さなお子さんの参加が多かった。

手づくりおもちゃの魅力 は、子どもの好奇心を引き 出し、興味を刺激するきっ かけになると改めて感じさ せられた。今回は新聞紙の 大きさを生かして、さまざ まな楽しみ方を紹介した。



大きな紙で広がる遊びの世界は、子どもたちの創造力をかき立てたようです。マジックは毎回 いつもとひと味違い、普段目にする機会の少ない子どもたちにとって、新鮮な驚きの体験だったようです。私たちお手伝いスタッフと親子にとっても大変楽しい時間でした。

(山中 かよ子)

オカリナハートミュージックトレインに出演

5月5日、シビックセンター音楽ホールで行われた 恒例のミュージックトレインに出演した。

今年は「ラバーズ コンチェルト」(原曲はバッハ作曲メヌエット)とカッチーニ作曲アヴェ・マリアの2曲を演奏、日ごろの練習の成果を披露した。美しいハーモニーが魅力の「アヴェ・マリア」は、全員が気持ちを一つにして、皆川久子さんの素晴らしい伴奏に合わせて気持ち良く演奏することができた。

5月31日には、オカリナハートの3姉妹グループで、 懇親会を兼ねたミニコンサートを行うことにしてい る。 (畑山 和子)



おもちゃの病院 かえっこバザール 2019 に参加

NPO法人「ひたち親子の広場」主催の「かえっこ バザール 2019」が3月10日、池の川さくらアリーナで 開催され、おもちゃの病院が出張参加した。

かえっこバザールとは、使わなくなったおもちゃを 持ち寄り、欲しいおもちゃと交換(かえっこ)すると いう遊び。11 時開場と同時に、次から次へと途切れる ことなく来場する親子で、あっという間に会場が一杯 になった。

おもちゃの病院は 会場の一角で8人で 対応。こちらにも受 付待ちが出るほど続 々集まりてんてこ舞 い。終わってみれば



26 件という嬉しい誤算。診療が間に合わずほとんどが 入院扱いとなった。

会場の駐車場が広く天気に恵まれ、当日は 300 人余りが集まったとのこと。今回の行事に参加を呼びかけていただいた主催者に感謝申し上げます。(山本 三男)

笛の会 楽しみながら

笛の会は、月1回「シニア健康センターしおさい」で演奏をしています。今回の「しおさい」での演奏曲は6曲です。風とケーナのロマンス、春一番、キャンデーズの歌でテンポが速く、上手に歌えなかった。リンゴ村から、あざみの歌は皆よくわかっており、声が出ておりました。春の唄はみんながすぐ思い出していただき楽しめました。最後は星影のワルツで終わりました。聞いてくださる方の満足が得られるほどのレベルには達していないと思いますが「楽しく聞いていただけるよう、楽しく演奏する」をモットーに精進していきたいと思います。皆さん、笛の会に参加してみませんか?

-3/3/2

「シニア地域入門講座」(5~8月)

月/日	内容
5/8	開講式・オリエンテーション・基調講話
	「これからの活動に向けて期待すること」
5/22	講話「日立の文化遺産」
	J-net の概要紹介、井戸端会議
6/12	講話「工都日立のルーツを学ぶ」
	講話映画「ある町の高い煙突」に見るまちづくりの原点
6 / 26	わが街日立の魅力再発見講座
	バスによる日立市内巡り
7/10	身近な地域で支えあいの活動を
	(ミニシンポジウム)~実践者のお話~
7 /24	講話「日本最古のカンブリア紀層と郷土日立」
	~いざ5億年前の日立へ~
8/7	共同作業 (簡単な調理を行います)
	井戸端会議 ~飲茶を楽しみながら交流~

(原則) 第2・4水曜日 13:15~16:00 福祉プラザ 他

楽 習 会 (5~8月)

月/日	楽習テーマ	内 容	場所
5/9	井戸端会議(1)	肩の力を抜いて、楽 しく話し合いを	
5/23	健康作りのため の健康体操ほか	健康年齢を延ばす	
6/13	民生委員に聞く 高齢者の暮し方	実態を学び、サポートする側に	女性 センター
6/27	宇宙の始まり、 現状、終り	未知の領域を聞く	
7/11	井戸端会議(2)	身近な話題から、 世界の動きまで	
7/25	料理教室	女性をもてなす 男の料理	後報
8/8	歌声喫茶	みんなで歌って ストレス発散!	後報

企画委員会だより(1~4月)

主な審議事項

- 1月1) 年末交流会決算報告 了承
 - 2) 楽習会予算追加申請(+17,000円)了承
 - 3) 一泊懇親会への補助金廃止の提案 近場を選定 する等費用低減を考慮の上現状のままとする
 - 4) 事務所移転に関する現状報告があった
- 2月1) 一泊懇親会のテーマ選定 近場優先とする
 - 2) 役員会報告 ①会友制度は継続する ②資格 を明確にした(活動が10年を超える者)
- 3月1) 総会資料の事前検討審議
- 4月1)総会資料の事前検討審議 主に決算、予算
 - 2) 企画委員退、新任 退任5人、新任1人

いざ故郷紹介に思いを巡らせると色々であるが、環

う毎にご無沙汰である。

私の故郷

境・習慣の違いがある。日立市内に移り住み、すっか り地元民であるが、家内に言わせると食生活に今だ富 山育ちを引き継いでいるらしい。一人当たりの魚消費 が全国4番目、魚好きは富山県人の証しであり、簡単 には食生活の好みは変わらないらしい。

リレー随筆

故郷・富山へは北陸新幹線が開通し4時間余りで行 けるが、両親も他界し帰省する機会も少なく、齢を追

いきいき富山

生まれは庄川流域の射水市で、上流には世界遺産の 越中五箇山、更に上流には飛騨高山、白川郷がある。 庄川の源流は、岐阜の山あいに分水嶺があって日本海 に注ぐのが庄川、太平洋へは長良川となり、山脈を隔 て生活圏も変わる。

富山は遠い雪国であるが、距離にして530km程度、 今では新幹線で日帰り圏と言っても言い過ぎではな い。とは言っても獲れる魚が違い、新鮮なカツオは富 山では入手し難く、近所の魚屋さんを通じ届けると喜 ばれる。また、茨城名産の干し芋もすこぶる評判が良 い。その分おいしい富山米を取り寄せ、海の幸・陸の 幸を通じ、便りとしている。ただ、陽射しの多い日立 市は、ずっと過ごし易い。

最後に北陸旅巡りを紹介したい。 ドライブ好きであれば、初日朝市の高 山、翌日白川郷を見て白山スーパー林 道を経由し加賀温泉郷泊り。3日目は 兼六園、武家屋敷の金沢泊り、帰りは 富山湾に浮かぶ立山連峰を見て太平洋 を目指すコースがお薦めである。



竹本 講治

事務所移転のご案内

今までの事務所(日立市弁天町)は、With you の事務所の2階を使用していましたが、With you 移転に伴い、J-net も With you の移転先に移転しま す。移転は4月中に終了し、5月から移転後の事務 所になります。新事務所の使用方法などについては 検討中のため、後日明確にした上で再度お伝えしま す。

新事務所住所:日立市東多賀町(旧メデカルセンター)

【編集後記】先日の総会を経て新年度がスタートした。5月から新 元号「令和」の時代が始まった。平成7年に発足した J-net は、24 年を経て区切りの25年が目前である。企画委員会にも新メンバーが 加わり、活動の更なる活性化が期待される。本紙では J-net や自主 グループの活動をより親しみある紙面で紹介していきたい。

新田次郎の小説「ある町の高い煙突」を題材にした映画が昨年秋 に完成し、いよいよ全国公開が始まる。先人たちの偉業を学び、我 々の活動に生かしていきたい。 (編集子)

行:熟年ネット・ひたち

代表 山野 邦雄

編 集:広報グループ

所: 〒316 - 0004

住

日立市東多賀町 5-1-1

Tel(携帯): 080-2380-3089

E-mail : inet-hitachi@ ineth.com

URL : http://ineth.com